

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標◆ じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ ゆたかな心（感性・情緒）◆ よき仲間（協調性・社会性）

もしか3歳児クラスだよ



2023年6月20日（火）

文責：立和田 みちる

梅雨に入ってから湿度も高く、気温のほうもかなり高くなってきました。天候にもよりますが衣服の調節ができるように、半袖や薄手の長袖の両方を準備していただくと助かります。子どもたちも汗をかくとシャワーをして着替えたり、寒いと感じれば上着や長袖を着て調節しています。時々、園用の服や靴下でも対応していることもありますが、その時は洋服の補充をお願いします。また、室内の気温もかなり高くまで上がるようになり、水分補給も細目にとるように心がけているところです。夏に向けて色々な感染症も流行してきますが、自宅でいつもと違うなあと思ったときは連絡帳でも記入していただくと助かります。私たち大人もですが、しっかり食べて、水分を取り、休養しながら暑さの乗り越えていきたいですね！！

朝の会

～言葉の感じ方～

朝の会で、わらべうたや季節の歌を歌います。今月は「あめふりくまのこ」を歌っています。始めて歌った時はじっくり耳で聞いている子、歌を歌う子といました。数日経ってから歌うと、歌詞が気になったのか「ねえ、くまさん傘もってなかったから、葉っぱを頭にのせたんだね！」といっさ君が言いました。それを聞いて、「たいが、かさもってるよ！」と答えていました。また、わらべ歌では「いしのなか」という曲が好きな子どもたちです。「いしのなかのかじやさん いしついでくうなんせ」という歌詞で、遊びでは両手をグーにして歌に合わせて打ち合わせて遊びます。リズムに合わせて打ち合わせをしますが、そこが子どもたちは楽しいようで「今度、いしでしょう！」というおとちゃんの言葉に「どんな石にしようかな？」と山神さきちゃんが嬉しそうに想像を膨らませてしゃべっていました。

日々色々な言葉を習得しながら、子どもたちは言葉の意味を知ることになったり、意味が分からないまま発言することもあります。気づいたときは私たち大人が正していけるよう園や家庭で取り組んでいけたらと思います。

（お願い）

・汗をかいたり、水遊びをしたりして着替えることが多くなって来る季節です。着替えを多めに準備してください。

・汗拭きタオルも持たせてください。

・園用の置き靴の準備をお願いします。（畑に急に行くこともあります。）

（お知らせ）

・23日（金）・・・クッキング（エプロン、三角巾、マスク）

※爪を切ってきてください。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵

解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峰 友里子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-544-5866)